



高野山・熊野を愛する 100人の会

～豪華メンバーと共に設立を発表！～



設立趣旨

『紀伊山地の霊場と参詣道』は、紀伊山地の自然がなければ成立しなかった「霊場」と「参詣道」、それを取り巻く山、川、海、滝、温泉や人間の営みなどの「文化的景観」が大きく評価され、平成16年7月ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

和歌山県にある永遠の聖地『高野山』、自然崇拝の聖地『熊野』は、いにしえからの霊場として、寛容の精神を受け継ぎながら多くの人々を受け入れてきました。

近年、世界的な評価が高まり国内外の人々に今もなお感動を与えています。

このような中、令和元年7月に世界遺産登録15周年を迎えました。

これを契機に『紀伊山地の霊場と参詣道』の価値の継承とさらなる魅力を国内外に発信するため、各界著名人からなる『高野山・熊野を愛する100人の会』を設立します。

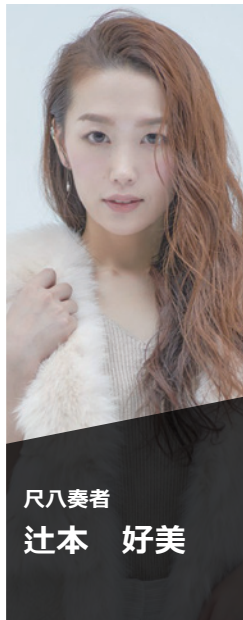
出演者からのメッセージ



博物学者、作家
荒俣 宏

和歌山県、高野山や熊野に興味をもったひとつのきっかけは、博物学者の南方熊楠でした。熊楠がここであかにユニークなものを見出したか、和歌山を歩いているとわかります。豊かな自然、古代から繋がってきた文化、日本人のルーツがここにはある。すべての人を受け入れてくれる、懐の深い土地です。また、美味しいものもたくさんあります。みかんひとつとっても、食べ比べることができくらい種類が豊富です。現地で味わう新鮮なクエ鍋は、驚くほど美味しい。食に関する魅力も尽きません。

「高野山・熊野」は、ガイドブックや本では読み解くことができない、奥深い場所です。ぜひ自分の足で歩いて、実感していただきたい。そして、文化を繋げてほしい。和歌山県は、令和で最もエキサイティングな場所だと思っています。



尺八奏者
辻本 好美

和歌山県の橋本市出身で、高野山の麓で育ちました。私にとって高野山は、親近感のある特別な場所です。離れて暮らすようになり、ますます存在の大きさを感じています。

近ごろは、公演で故郷に帰るたびに、ミュージシャン仲間を連れて高野山を訪れています。一緒に登ったメンバーがそろって口にするのは、ここには引き締まった特別な空気が漂っている、ということ。自然豊かな美しい風景に、澄んだ空気が流れています。近くにいた時には気づかなかった、高野山の持つ神秘性やパワーを感じました。

私自身、故郷である高野山、そして熊野について、知らないことはたくさんあります。これを機に、改めて勉強しながら、多くの方々に向けに情報を発信していきたいと思っています。



ヤマサ醤油株式会社
代表取締役会長
濱口 道雄

私でヤマサ醤油十二代目となります。会社は千葉県銚子市にございますが、初代から十一代目までは、和歌山県広村（現広川町）で生まれました。広村で暮らし、会社のある銚子市を往復する生活を、長年送ってまいりました。

広村で津波がおきた時、稲の束に火をつけて村人に知らせ命を救ったという、「稲むらの火」の逸話が有名になった濱口梧陵（はまぐち・りょ）は、私の先祖で七代目にあたります。

さらに醤油屋のもとを辿りますと、広川町にある安楽寺に濱口家のルーツはございます。高野山で修行した先祖が開いたお寺なのです。

このように和歌山県、「高野山・熊野」に縁の深い私を会員に選んでいただいたことに、とても感謝しております。我々の故郷を、多くの方に知っていただけるような提案を少しでもしていきたいと思っています。



作家
夢枕 獏

高野山には、弘法大師を小説に書くこと訪れたことをきっかけに、もう40年ほど通っております。困った時には必ず高野山に行く、元気になる場所です。奥之院には、敵味方関係なく歴代の戦国武将が、ひとつの聖域のなかで並んで眠っています。ほかにも、ロケット塚や白アリの慰霊碑、落書き塚などがあり、ユニークでとても興味深い。

熊野にも、八咫鳥の伝説など、小説の材料になるような逸話が数多くあり、興味が尽きることはありません。日本史を考えるうえで、忘れてはいけない場所です。

実は、私が和歌山県で最も多く訪れているのは、古座川です。古座川の鮎はとても美味しく、鮎釣りのシーズンにはいつも通っております。

これからも、歴史や、美味しいものなど、「高野山・熊野」の魅力を探りながら、全国の皆さんにお知らせしてまいります。



東京藝術大学長
澤 和樹

30年ほどまえに、ヴァイオリンを学ぶ子どもたちを連れてキャンプをしたことをきっかけに、熊野には毎年訪れるようになりました。都会育ちの子どもたちは、キャンプに参加することにより、普段の生活では触れることのない壮大な自然に感性を刺激され、変化を表します。こうした貴重な経験は、演奏にも大きな影響をもたらします。

高野山は、真言宗の聖地ではありますが、宗派を超えて、すべての人を受け入れる寛大な土地です。また、自分自身を見つけることができる、謙虚になれる、すばらしい場所であると感じています。極めて貴重な人類共通の遺産であり、私たちはこうした文化を、次の世代に繋げていかなくてはなりません。今回、この会に入れていただいたことを、たいへん光栄に思っております。

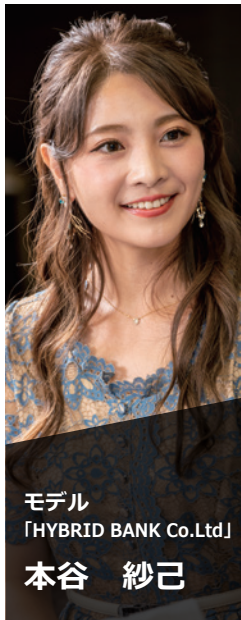


ウォーキングドクター
デューク 更家

和歌山県出身ということもあり、子どものころから熊野を身近に感じて育ちました。

私は日本やヨーロッパで、歩くことで健康になるウォーキングレッスンの指導をしています。正しいウォーキングで健康を取り戻して欲しいという想い、その根底には熊野に思づく精神があります。祈りの道である熊野参詣道には、古代から中世にかけ、皇族、貴族から庶民にいたるまで、多くの人々が熊野を目指して歩くイベントをおこなっていました。私はこの想いを引き継ぎ、歩くことで道徳を教える「歩育（ほいく）」や、神社仏閣で安寧を祈念する「ウォーキング奉納」、健康運をあげる「龍歩ドラゴンウォーキング」を実施しています。

現在、熊野参詣道には、初心者でも気軽に楽しめる熊野古道ウォークコースがあります。多くの方に、歩いていただきたいです。



モデル
「HYBRID BANK Co.Ltd」
本谷 紗己

子どものころから家族とよく訪れた「高野山・熊野」は、私にとって慣れ親しんだ場所です。小学生の時、ガールスカウトで冬の高野山を登りました。一歩一歩雪を踏みしめて進むと、そこには今まで見たことのない、素晴らしい景色が広がっていました。その時の感動は、今でも忘れられません。

現在も和歌山市に住み、全国に通いながらモデルの仕事をしています。また、和歌山県公式Instagramイメージガールを務めています。

熊野では、大門坂で平安時代の衣装を身につけ、那智の滝や熊野古道で撮影ができます。篠笛の演奏付き熊野川舟下りや、語り部の話を聞きながら古道を歩くツアーなど、さまざまなスタイルで楽しめるコースもあります。若い方々にも興味を持っていたらと思うよう、SNSなどを通して、こうした情報を発信していきたいと思っています。



和歌山県知事
仁坂 吉伸

今年は和歌山県にとって、特別な年です。我らの「高野山・熊野」を含む、「紀伊山地の霊場と参詣道」が、世界遺産に登録されて15周年を迎えます。

紀伊山地は古来より豊かな自然に神仏が宿ると考えられ、高野山や熊野という霊場、そこに至る参詣道を形成し、伝統や文化を次世代に繋げてまいりました。ここは世界に類を見ない宗教都市であり、祈りと信仰の場です。近年では世界的な評価が高まり、さらに国内外より注目を浴びています。

また、このたび世界遺産登録15周年を記念して、著名な方々にお集まりいただき、『高野山・熊野を愛する100人の会』を発足しました。会を通して価値を継承していくとともに、新しい魅力を発信していきたいと思っています。これから世界中の方々に愛される場所になるよう、努めてまいります。

「和みわかやま」 東京レセプション2019



和歌山県と和歌山県観光連盟は

2019年9月3日

に「和みわかやま」

東京レセプション

2019」を、ホテル

ニューオータニにて

開催しました。今年

は、「紀伊山地の霊場

と参詣道」の世界

遺産登録15周年に

あたります。聖地で

ある「高野山・熊野」が注目を集めるなか、和歌山県の魅力と情報をいっそう国内外に発信するため、首都圏のメディア関係者や観光業者約300人を招待しました。

当日は、二部構成でイベントが行われ、第一部では、高野山真言宗宗務総長公室長の山口文章（やまぐち・ぶんしゅう）さんが講演。高野山に伝わる「阿字観（あじかん）」と呼ばれる瞑想法を、参加者に伝授しました。

第二部では、高野山金剛峯寺の僧侶5名による声明ラップを実施。県の特産品を使ったお料理と梅酒等が振る舞われました。また、仁坂吉伸知事から「高野山・熊野を愛する100人の会」の設立を発表。「高野山・熊野」にゆかりの深い7名のメンバーが登場し、それぞれ「高野山・熊野」に対する想いを語りました。



スペシャル座談会

設立発表が行われる少し前、「100人の会」メンバーと仁坂知事による座談会が開かれました。話題はおいしい胡麻

豆腐のお店か

ら、南方熊楠、

那智の滝周辺

に広がる絶景、

知事が大好きな

昆虫採集まで

様々。時にアカ

デミックに、時に

面白おかしく、

「高野山・熊野」

の素晴らしさ、

和歌山県の魅力

について語り

合われました。



参加者は荒俣宏さん、澤和樹さん、デューク更家さん、濱口道雄さん、本谷紗己さん、夢枕獏さん、仁坂知事、稲本商工観光労働部長。

100人の会メンバー紹介

ご賛同者様（敬称略、五十音順）

相 川 七 瀬	甲 斐 み の り	澤 和 樹	趙 海 成	平 野 啓 子
遠 北 光 彦	柏 木 白 光	澤 田 道 隆	辻 省 次	堀 本 裕 樹
荒 俣 宏	片 岡 鶴 太 郎	残 間 里 江 子	辻 本 茂 雄	本 田 悦 朗
有 吉 玉 青	桂 小 文 枝	塩 地 隆 三	辻 本 好 美	本 谷 紗 己
安 念 清 邦	金 山 秋 男	志 賀 俊 之	出 口 光	松 尾 泰 伸
石 田 ゆ う す け	川 井 郁 子	紫 舟	デューク更家	松 下 正 幸
泉 麻 人	河 田 恵 昭	篠 田 教 夫	寺 島 実 郎	水 森 か お り
一 柳 良 雄	神 崎 亮 平	島 田 晴 雄	土 肥 芳 郎	ミ ネ 八 八
上 島 達 司	金 周 會	白 洲 信 哉	鳥 井 信 吾	宮 崎 志 郎
上 野 顯	木 村 陽 子	鈴 木 理 策	中 上 紀	美 山 良 夫
海 老 原 露 巖	九 鬼 家 隆	清 家 篤	中 島 由 貴	山 川 豊
及 川 眠 子	ク ミ コ	千 賀 修 一	中 瀬 ゆ か り	山 口 明 夫
王 紀 言	久 利 康 暢	添 田 隆 昭	中 平 穂 積	山 口 春 三
大 倉 正 之 助	コウケンテツ	高 木 亮 享	中 辻 憲 夫	山 中 諄
大 森 俊 之	河 野 俊 行	高 田 創	丹 生 晃 市	山 本 一 力
大 家 一 将	コシノジュンコ	田 川 寿 美	仁 坂 吉 伸	山 本 ま り こ
岡 野 玲 子	小 嶋 淳 司	武 内 和 彦	西 陽 子	顔 安
岡 本 玲	小 西 博 之	田 嶋 幸 三	西 村 幸 夫	夢 枕 獏
荻 野 ア ン ナ	小 宮 山 宏	田 中 和 仁	濱 口 道 雄	Aika-橋本恵子
小 黒 世 茂	坂 井 希 久 子	田 中 ひ ろ み	林 英 哲	M a y J .
男 成 洋 三	阪 田 雅 裕	田 中 理 恵	林 雅 彦	
音 無 美 紀 子	坂 本 す が	谷 口 維 紹	早 田 卓 次	
小 野 直 路	坂 本 冬 美	谷 口 博 昭	半 田 美 永	

令和元年11月現在



高野山・熊野を
愛する
100人の会

高野山・熊野を愛する100人の会
<https://koyasan-kumano100.jp>



「高野山・熊野を愛する100人の会」の公式webサイトでは、
メンバーのご紹介をはじめ、メッセージ、サイン等を詳しくご紹介。
メンバーの活動やお知らせ情報も掲載しています。

お問い合わせ

『高野山・熊野を愛する100人の会』事務局（和歌山県観光振興課内）
Mail e0624001@pref.wakayama.lg.jp TEL 073-441-2777